

第 15 回 関東産婦人科乳腺医学会

【テーマ】

乳腺医療における多職種との連携と推進

【会長】 的野 博

的野ウィメンズクリニック 院長

【実行委員長】 宮城 悦子

横浜市立大学 副学長

【会期】 2024 年 8 月 25 日（日）

【会場】 はまぎんホールヴィアマーレ

目 次

ご挨拶	3
交通ご案内	4
会場見取図	5
参加者の皆様へ	6
座長・演者の皆様へ	7
日程表	8
講演抄録・略歴	9
教育講演 1	10
教育講演 2	14
基調講演	18
教育講演 3	20
ランチオンセミナー	22
シンポジウム 1	24
シンポジウム 2	30
関連学会・研究会予定	36
協賛企業・団体一覧	38

ご挨拶

第15回関東産婦人科乳腺医学会開催にあたり



この度、第15回関東産婦人科乳腺医学会 学術集会を2024年8月25日（日）に、はまぎんホールヴィアマールにて開催させていただくことになり、大変光栄に存じております。

現在、日本人女性において最も罹患率の高い悪性腫瘍は「乳がん」であり、特に検診による早期発見は急務かつ重要と考えます。そして、多くの産婦人科医が子宮がん・卵巣がんとともに乳腺への関心を高めて欲しいと願っております。

これまで本邦では、乳腺疾患は主に外科・乳腺科などが担当してきましたが、最近の医学教育では、産婦人科学を中心に、「乳腺・生理学・病理学・学放射線医学」が加わった「生殖器機能系」と呼ばれる包括的な教育カリキュラム制度になっております。すなわち、現在の医学生は、乳腺疾患の授業は外科学ではなく、上記の臨床医学系で学習していることから、すでに実地臨床に携わっておられる産婦人科の先生方は、若手医師への指導の観点からも、乳腺疾患を正しく理解し、診療する事が求められております。

こうした中、産婦人科医師による乳がん検診を中核として、広い乳腺疾患の教育・診療を目的として本学会は活動しており毎回多くの参加者による熱心な意見交換が行われており、最近では助産師・看護師の方々の参加も増えております。

今回の第15回関東産婦人科乳腺医学会 学術集会は、テーマを「乳腺医療における多職種との連携と推進」とし、乳腺に関する最近の話題を中心に、多角的に乳腺疾患の理解を深め、実地臨床に生かせる学術集会にしたいと考えております。そして、開催形式も現地開催に加えてオンデマンド配信とし、関東地区以外の先生方、さらに助産師や看護師、薬剤師の方々など、多職種の皆様のご参加も歓迎したいと思っております。

皆様の多数のご参加をお待ちしております。

第15回 関東産婦人科乳腺医学会

会長 的野 博

(的野ウィメンズクリニック 院長)

交通ご案内

会場:はまぎんホールヴィアマーレ

〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1 TEL:045-225-2173 FAX:045-225-2183

<最寄り駅からのご案内>

- JR・横浜市営地下鉄線 桜木町駅下車 徒歩約5分
- みなとみらい線 みなとみらい駅下車「クイーンズスクエア連絡口」「けやき通り口」より徒歩約7分※駐車場のご用意がございませんので、公共の交通機関のご利用をお願い致します。

<新幹線新横浜駅からのご案内>

- JR 横浜線
JR 新横浜駅～(JR 東神奈川駅)～JR 京浜東北線桜木町駅 (15分)
JR 桜木町駅～ヴィアマーレ 徒歩約5分

- 横浜市営地下鉄
JR 新横浜駅～横浜市営地下鉄桜木町駅 (15分)
横浜市営地下鉄桜木町駅～ヴィアマーレ 徒歩約5分

<空港からのご案内>

○羽田空港

- 京浜急行羽田空港駅～横浜駅 (24分)
JR 横浜駅～JR 京浜東北線桜木町駅 (3分)～ヴィアマーレ (徒歩約5分)
(またはみなとみらい線横浜駅～みなとみらい駅 (3分)～ヴィアマーレ (徒歩約7分))
- リムジンバス～横浜シティエアーターミナル (YCAT) (約30分)
横浜シティエアーターミナル (YCAT) (横浜駅東口)～ヴィアマーレ (タクシー約5分)
(または①JR 横浜駅～JR 京浜東北線桜木町駅 (3分)～ヴィアマーレ (徒歩約5分)
②みなとみらい線横浜駅～みなとみらい駅 (3分)～ヴィアマーレ (徒歩約7分))

○成田空港

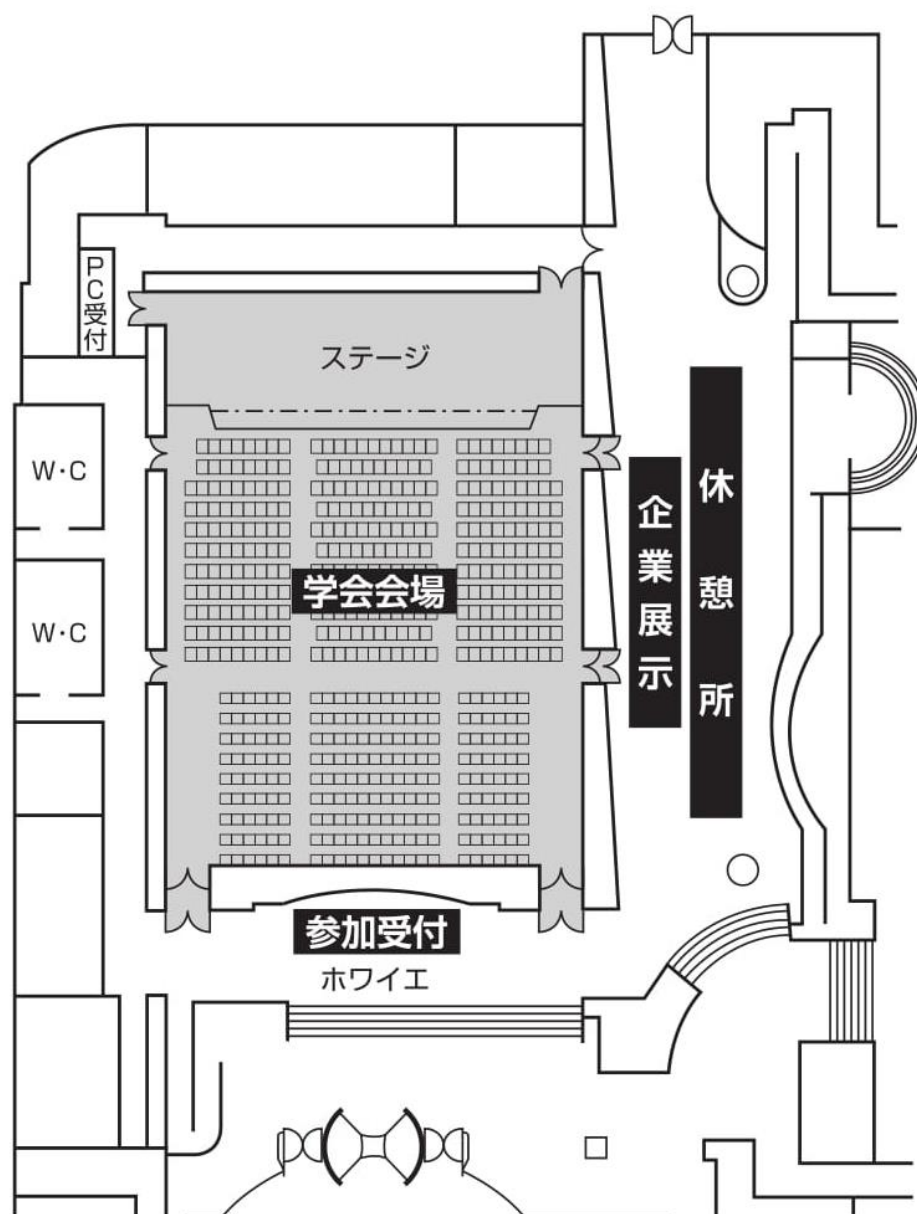
- JR 成田エクスプレス～横浜駅 (90分)
JR 横浜駅～JR 京浜東北線桜木町駅 (3分)
JR 桜木町駅～ヴィアマーレ (徒歩約5分)
- リムジンバス～横浜シティエアーターミナル (YCAT) (約90分)
横浜シティエアーターミナル (YCAT) (横浜駅東口)～ヴィアマーレ (タクシー約5分)
(または①JR 横浜駅～JR 京浜東北線桜木町駅 (3分)～ヴィアマーレ (徒歩約5分)
②みなとみらい線横浜駅～みなとみらい駅 (3分)～ヴィアマーレ (徒歩約7分))

■アクセスマップ



会場見取図

- メイン会場：1階 はまぎんホールヴィアマーレ(ホール)
PC受付：1階 はまぎんホールヴィアマーレ(ホール) 前方左手
参加受付・ポイント受付・クローク・学会入会案内：1階 ホワイエ
企業展示・休憩所：1階 ホワイエ
講師控室：M2階 控室2
事務局：M2階 控室1



1F

参加者の皆様へ

I. 参加費

医師：8,000円 その他の方：4,000円

初期研修医・学生：無料 *身分証をご提示ください。

- ・ 参加受付は、当日午前8時30分より、講演会場前にて行います。
- ・ 事前登録をオンラインでされた方は、予めネームカードまたはメール送信された確認書をプリントし受付でご提示ください。
- ・ 現地参加の方には当日会場でネームカードをお渡し致します。
- ・ 事前登録をオンラインでされた方は、登録画面より領収書の発行も可能です。
- ・ 上記の参加費で、現地参加・オンデマンド配信視聴のいずれも可能です。

II. プログラム抄録集

ご登録された方に、PDFにてEmail添付送信させていただきます。また、当日ご来場の際に、受付で冊子をお渡し致します。

もし追加で冊子が必要な場合には、別途ご購入ください（1部1,000円）。

III. 各種研修証明について

医師の方へ：当学会プログラムにご参加の方には、以下の発行致します。

日本専門医機構	学術集会参加単位
	産婦人科領域講習
日本医師会	生涯教育制度参加証
日本産婦人科医会	研修参加証

助産師の方へ：当学会プログラムは、以下に該当する講義を含みます。

日本助産評価機構更新要件	選択研修
日本産婦人科乳腺医学会	乳房エキスパート看護職制度単位

IV. オンデマンド配信について

第15回関東産婦人科乳腺医学会ホームページ

<http://www.academiasupport.org/15kanto-jbsgo.html>

から学会プログラムをオンデマンド配信致します。

オンデマンド配信の期間は、2024年9月2日（月）～30日（月）を予定しております。

なお、日本専門医機構の単位取得は、8月25日（日）現地参加またはオンライン参加、またはオンデマンド配信にて9月2日（月）～9月8日（日）の視聴が対象となります。

また、日本医師会生涯教育制度参加証は8月25日（日）現地参加のみが対象となります。

【お問合せ先】

第15回関東産婦人科乳腺医学会運営事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7-920 一般社団法人アカデミアサポート内

Tel: 03-5312-7686 Fax: 03-5312-7687 Email: 15kanto-jbsgo@academiasupport.org

座長・演者の皆様へ

座長の皆様へ

- ・ 担当セッションの開始 10 分前に、会場内前方の「次座長席」にご着席ください。
- ・ 担当セッションの進行は、時間内に終了するよう円滑な運営にご協力をお願い致します。

演者の皆様へ

I. 発表方法について

- ・ 発表形式は PC による発表のみです。
- ・ 会場へは、1. USB メモリ、2. CD-R (RW 不可)、3. ノート PC 本体、以上 1~3 のいずれかの形で発表データをお持ち込みください。
- ・ 講演開始 30 分前までに、PC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。
- ・ 学会場では試写のみとし、データ修正等は事前に済ませてからお越しください。
- ・ ご発表 10 分前には、会場内前方左手の「次演者席」に着席し待機してください。

II. 発表データについて

■USB メモリ、または CD-R (RW 不可) をお持ち込みの方へ

- ・ ソフトは、以下をご使用ください。
Windows 版 PowerPoint 2013/2016/2019
※Macintosh や動画ファイルをご使用の方は、PC をお持ち込みください。
- ・ フォントは OS 標準のもののみご使用ください。
- ・ 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願い致します。
- ・ CD-R (RW 不可) への書き込みは、ISO9660 方式をお使いください。
※パッケージ方式ですと、会場 PC で読み込めない恐れがあります。

■ノート PC をお持ち込みの方へ

- ・ バックアップとして、必ずメディアもご持参ください。
- ・ 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願い致します。
- ・ PC 受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。
※PC の機種や OS によって、出力設定方法が異なります。
- ・ プロジェクターとの接続ケーブル端子は、ミニ Dsub15 ピンです。
PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。
※特に VAI0、MacBook 等小型 PC は、付属コネクタが必要な場合がありますのでご注意ください。
- ・ スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
- ・ コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。

日程表

時間	内容
09:00-09:10	開会式 開会挨拶 的野 博(第15回関東産婦人科乳腺医学会 会長) 来賓挨拶 自見 はなこ(参議院議員)
09:10-10:10	教育講演1「助産師が行う乳房のケアのコツと勘所(乳腺炎を含む産褥期ケア)」 ★1単位、☆1単位、●、○ 演者・コーディネーター:土井 卓子(湘南記念病院乳がんセンター センター長) ディスカッサント:市川 恵子(めぐみ助産院 院長) ディスカッサント:森内 幸美(もりうち母乳育児相談室 院長)
10:10-11:10	教育講演2「乳房超音波の開発と乳腺外科医、産婦人科医への要望」 ★1単位、☆0.5単位 座長:佐久間 浩(フリー超音波検査士) 「乳癌超音波診断のパイオニアの一人として」 演者:霞 富士雄(日本乳癌学会 名誉会長) 「簡単!超音波で乳癌検診」 演者:佐久間 浩(フリー超音波検査士)
11:10-11:20	休憩
11:20-12:00	基調講演「根治性と整容性の両立を目指して」 ★1単位(※注)、☆0.5単位 座長:宮城 悦子(横浜市立大学産婦人科学 主任教授) 演者:石川 孝(東京医科大学乳腺科学分野 主任教授)
12:00-12:40	教育講演3「乳がん患者における妊孕性温存療法の現状」 ★1単位(※注)、☆0.5単位 座長:寺本 勝寛(山梨県立中央病院 名誉院長) 演者:高江 正道(聖マリアンナ医科大学 産科部長)
12:40-12:50	休憩
12:50-13:50	ランチョンセミナー「乳がん患者の術後QOL向上を目指して-新しい乳房再建法とエクオール活用-」 ★1単位、☆1単位 【共催:大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部】 座長:土井 卓子(湘南記念病院乳がんセンター センター長) 演者:梶川 明義(聖マリアンナ医科大学形成外科学教室 主任教授)
13:50-14:00	休憩
14:00-14:20	総会
14:20-15:35	シンポジウム1「乳腺外科と産婦人科の連携」 ★1単位、☆1単位 座長:的野 博(的野ウィメンズクリニック 院長) 座長:高松 潔(つくばみらい遠藤レディースクリニック 顧問) 1「プレコンセプションケアと産婦人科医会の取り組み」 演者:鎌田 正晴(医療法人医仁会徳島検診クリニック 副院長) 2「ブレスト・アウェアネス(Breast Awareness:BA)普及のための検討及び課題(妊娠関連乳がん(Pregnancy associated breast cancer; PABC)早期発見を目指して)」 演者:加藤 栄一(坂井市立三国病院産婦人科) 3「乳腺疾患診療における産婦人科と乳腺外科の連携-妊娠・授乳期の診療を含めて-」 演者:久保内 光一(よこはま乳腺クリニック 院長)
15:35-15:45	休憩
15:45-17:20	シンポジウム2「乳腺疾患の画像診断」 ★1単位、☆1.5単位 座長:竹田 奈保子(たけだ乳腺・婦人科クリニック 院長) 座長:関根 憲(関根ウィメンズクリニック 理事長) 1「マンモグラフィ読影のコツ」 演者:俵矢 香苗(横浜栄共済病院外科 乳腺甲状腺担当部長) 2「総合判定」 演者:大貫 幸二(宮城県立がんセンター乳腺外科 診療科長) 3「乳腺疾患の画像診断 AI」 演者:井上 謙一(湘南記念病院乳がんセンター)
17:20-17:25	次期会長挨拶 長阪 一憲(帝京大学医学部産婦人科 主任教授)
17:25-17:30	閉会挨拶 宮城 悦子(関東産婦人科乳腺医学会 代表) 的野 博(第15回関東産婦人科乳腺医学会 会長)

★専門医機構産婦人科領域講習

☆日本医師会生涯教育

●乳房エキスパート看護職セッション

○日本助産評価機構更新要件 選択研修

※注:基調講演と教育講演3は両方を聴講した場合に、1単位が付与されます。

※上記プログラムを参加された方に、日本産婦人科医会の研修会出席証明を登録致します。

講演抄録・略歴

【教育講演1】

助産師が行う乳房のケアのコツと勘所（乳腺炎を含む産褥期ケア）

湘南記念病院乳がんセンター

土井 卓子

めぐみ助産院

市川 恵子

もりうち母乳育児相談室

森内 幸美

妊娠、出産によって乳房は大きく変化し、授乳開始後は乳腺炎、腫瘍の発生など多くの問題も発生する。助産師は妊娠初期から乳房のケアにかかわり、授乳、卒乳まで経過を見ていく。今回、二人の助産師に乳房ケアを行う際、対応に苦慮する問題点、判断に迷う問題点を挙げていただき、乳腺外科医と一緒に上手な乳房との向き合い方を考えていきたい。

まず、妊娠、授乳による乳腺の変化を画像で提示し、助産師のケアについて討論する。次にうっ滞性乳腺炎が起こった際、マッサージのこつ、切開、排膿に移行すべきタイミング、抗生剤の使用の必要性、授乳の是非を討論する。次に妊娠・授乳中の乳がんについて、特徴と見逃さないこつ、現在の治療の在り方などを討論する。その他、陥没乳頭や良性腫瘍など日常のケアでよく遭遇する問題などを取り上げ、助産師が安心して上手に乳房ケアができるためのディスカッションの場としたい。

略歴



湘南記念病院乳がんセンター センター長

土井 卓子 (どい たかこ)

学歴：1984年横浜市立大学医学部卒業、1990年同大学院卒業、学位取得

職歴：1984年6月から1986年3月	横浜市立大学医学部附属病院で研修
1986年4月～1990年3月	同大学院在籍、卒業、学位取得
1990年6月～1993年5月	済生会横浜市南部病院勤務
1993年6月～1995年3月	横須賀共済病院勤務
1995年4月～2008年7月	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター勤務
2008年8月～	湘南記念病院勤務

専門：外科、特に乳腺外科と消化器外科
外科学会認定医、指導医、外科専門医、消化器病学会専門医、消化器外科学会認定医
乳癌専門医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、ICD

所属学会：日本乳がん検診学会、日本乳癌学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、
日本消化器病学会、日本内視鏡学会、日本内視鏡外科学会、日本癌学会、日本癌治療学
会、日本大腸肛門病学会、日本がん検診診断学会、日本細胞診学会、日本臨床腫瘍学
会、日本感染症学会

筆頭著者論文：

- 1 岡田卓子：各種抗CEA (Carcinoembryonic Antigen) 抗体による大腸癌の原発巣および転移巣の免疫組織学的検討。日本大腸肛門病学会雑誌 43巻2号144-152、1990年
- 2 岡田卓子、塩谷陽介、ほか：粘膜下腫瘍状の形態を示し reactive lymphoreticular hyperplasia として経過観察された胃悪性リンパ腫の一例。消化器内視鏡の進歩 35巻256-259、1989年
- 3 岡田卓子、杉山貢、ほか：肝の炎症性偽腫瘍の1例。外科診療 31巻9号140-144、1989年
- 4 岡田卓子、須田嵩、ほか：乳腺細胞診における C-erbB-2 蛋白の発現と核小体形成体の意義。日本臨床外科医学会雑誌 53巻6号1270-1275、1992年
- 5 岡田卓子、山岡博之、ほか：乳癌穿刺吸引細胞診における C-erbB-2 蛋白の発現。乳癌の臨床 7巻3号385-386、1992年
- 6 土井卓子、西山潔、ほか：大網腫瘍を疑い手術した Normal Sized Ovary Carcinoma Syndrome の1例。日本外科系連合学会誌 23巻5号891-896、1998年
- 7 土井卓子、西山潔、ほか：乳癌領域における植物アルカロイド製剤。日本病院薬剤師会雑誌 36巻12号33-36、2000年
- 8 土井卓子、西山潔、ほか：Toremifene 単独投与で多発性骨転移の改善を見た乳癌の1例 癌と化学療法 28巻6号839-843、2001年
- 9 土井卓子、西山潔：女性外来。からだの科学 231巻96-101、2003年
- 10 土井卓子、青木昭子：日本における女性外来。医学のあゆみ 209巻11号、917-921、2004年
- 11 土井卓子、青木昭子、西山潔：女性外来の現状と今後。医療 58巻7号383-387、2004年
- 12 土井卓子、田辺美樹子：乳がん。からだの科学増刊号 110-113、2005年

略歴



めぐみ助産院 院長

市川 恵子 (いちかわ けいこ)

学歴：横浜市立大学医学部附属高等看護学校第Ⅰ看護科 卒業

神奈川県衛生看護専門学校助産師学科 卒業

職歴：大口東総合病院

横浜市立市民病院

2008年1月～めぐみ助産院 現在に至る

2018年10月～母と子の訪問看護めぐみ 現在に至る

略歴



もりうち母乳育児相談室 院長

森内 幸美 (もりうち ゆきみ)

1983年 三重大学医学部附属看護学校卒業

1984年 三重県立公衆衛生学院助産学科卒業

総合病院、助産院勤務を経て、

2007年 もりうち母乳育児相談室（出張専門）開業

アドバンス助産師

公益社団法人神奈川県助産師会会員

かながわ母乳の会世話人

【教育講演2】「乳房超音波の開発と乳腺外科医、産婦人科医への要望」

乳癌超音波診断のパイオニアの一人として

日本乳癌学会 名誉会長

霞 富士雄

乳癌の診断法の歴史として、MMG や US などの研究は、この 50 年にしか過ぎない。1970 年代 MMG は胸部 X 線撮影の装置の転用から、US は海軍の対潜発見装置から始まった。演者は命ぜられて乳癌の超音波診断の研究を開始したが、水浸法、黒日 2 点摘出法にすぎず、グレイスケール法は後世のものであった。

当初、これで乳腺疾患の鑑別が可能になるのかと案ぜられるような粗末な画像であったが、探触子によるゼリー塗布乳房を走査するものに、次いで電子スキャン法への進展、全国グループ研究によって、乳癌の典型的な 3 パターンの発表、さらに微細石灰化の認知、乳管の摘出、両者の同時表示が可能となった。

演者は微細ガラス粒子を寒天液に点在浮遊させる実験モデルを案出して、個々の輝点摘出したものと判断、現在の常識に至ることが出来た。この間の苦労話を述べたい。

略歴



日本乳癌学会 名誉会長

霞 富士雄 (かすみ ふじお)

1966年 (昭和 41年)	東京大学医学部卒
1970年	大塚癌研外科勤務
1988年	同乳腺外科部長
1997年	日本乳癌学会会長
2005年	癌研乳腺外科定年退職 順天堂大学乳腺外科教授
2011年	同退職、客員教授

【教育講演2】「乳房超音波の開発と乳腺外科医、産婦人科医への要望」

簡単！超音波で乳癌検診

フリー超音波検査士

佐久間 浩

【はじめに】超音波検査で精度の高い乳癌検診を行うコツを解説する。

【目標】浸潤癌を径1cmまでに見つける。

【判定】乳癌が疑われるものを拾い上げそれ以外を落とす。そのためにはそれぞれの疾患の超音波像を頭に入れておく必要がある。診断樹方式のガイドラインは実用的ではない。

【腫瘍】まずは嚢胞を確実に診断できるようにする。嚢胞を落とすことができれば、それだけで無駄な要精査をマンモグラフィよりも減らすことができる。線維腺腫は典型像であれば落とせるはずである。迷った場合は要精査としても問題はない。その他、一度覚えたら確実に落とせるようになる病変として、乳癌、濃縮嚢胞、過誤腫、乳房内リンパ節などがある。

【非腫瘍性病変】その代表は非浸潤性乳管癌である。とくに面疱型の超音波像を覚えておくとよい。

【おわりに】これらの検査を行うにあたって、高価な装置は必要ない。エラストグラフィの機能を搭載している必要はない。

略歴



フリー超音波検査士

佐久間 浩 (さくま ひろし)

1980年3月 北里衛生科学専門学院卒
4月 財団法人癌研究会附属病院中央検査部
1985年 日本超音波医学会認定超音波検査士 (RMS-1)
1992年 財団法人癌研究会附属病院中央検査部主任
2002年4月～2014年3月 東京女子医科大学非常勤講師
2004年5月 株式会社ソノグラファーズ設立
2004年12月 財団法人癌研究会退職
2022年3月 株式会社ソノグラファーズ解散

【所属学会等】

日本超音波検査学会
日本超音波医学会
日本乳腺甲状腺超音波診断学会
日本乳癌学会
日本乳癌画像研究会
DCIS 研究会
赤坂乳腺超音波研究会 (顧問)

【著書】

超音波アトラス-乳房, 医歯薬出版, 1990
腹部超音波検査ノート, ベクトル・コア, 1991 (共著)
乳房・甲状腺アトラス, ベクトル・コア, 1993
乳房アトラス (改訂版), ベクトル・コア, 2004
[中国語版, 2012]
乳房超音波実践マニュアル, 医歯薬出版, 2005 (編著)
乳房超音波 Q&A, ベクトル・コア, 2006
[韓国語版, 2009]
よくわかる超音波検査入門講座, 永井書店, 2006 (編集)
スタンダード乳房超音波検査法, 篠原出版新社, 2007 (編著)
乳房疾患超音波画像集, 医歯薬出版, 2008 (共著)
超音波検査必携 肩こり・腰痛解消 BOOK, 医歯薬出版, 2009 (共著)
超音波乳癌検診完全ガイドブック, 篠原出版新社, 2010 (編著)
乳房超音波勘違いケース100, 南江堂, 2011 (編著)
乳房超音波トレーニングブック, ベクトル・コア, 2011
[中国語版, 2013]
[英語版電子書籍, 2018]
乳房アトラス (三訂版), ベクトル・コア, 2015
超実践! 乳房超音波マニュアル, 医歯薬出版, 2019 (編著)
乳房アトラス (第4版), メディフレックス, 2023年
乳房超音波トレーニングブック改訂版, メディフレックス, 2024年

【基調講演】「根治性と整容性の両立を目指して」

根治性と整容性の両立を目指して

東京医科大学乳腺科学分野

石川 孝

全切除術と部分切除術の成績は同じであることが証明されて部分切除術が基本になり、乳がんの手術は縮小化の方向に向かっています。また手術の前に化学療法を行うと乳がんが縮小して整容性が高い手術ができるため、化学療法が必要な症例に対する術前化学療法は標準治療になりました。さらに術前化学療法による乳がんの完全消失＝治癒ということ、また消失しなかった場合に新たな薬剤を追加すると成績が改善することが証明されて、以前は手術から始まっていた治療が大きくパラダイムシフトしています。

一方で手術自体も進歩しています。2012年に日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会が発足しました。この学会では形成外科医と乳腺外科医が乳がん治療における手術の意義を模索しながら、協力して治療と研究を行っています。

乳がん診療における手術の位置づけが変わる中、私たち外科医の存在意義や乳がんの診療体制も変わっていくと考えられます。今回の講演では根治性と整容性の両立を目指した現時点での乳がん治療についてお話ししたいと思います。

略歴



東京医科大学乳腺科学分野 主任教授

石川 孝 (いしかわ たかし)

学歴	昭和 55 年 3 月	山形県立酒田東高等学校卒業
	昭和 56 年 4 月	横浜市立大学医学部入学
	昭和 62 年 3 月	同大学卒業
	昭和 62 年 4 月	横浜市立大学医学部外科学第二講座大学院入学
	平成 3 年 3 月	同大学院卒業
職歴	平成 2 年 10 月	米国カリフォルニア州立大学アーバイン校研究員
	平成 5 年 6 月	横浜市立大学医学部第二外科特別職診療医
	平成 7 年 4 月	同病院助手
	平成 9 年 4 月	同講座助手
	平成 11 年 4 月	兼 理化学研究所研究員
	平成 15 年 4 月	横浜市立大学附属市民総合医療センター総合外科講師
	平成 19 年 4 月	同 乳腺甲状腺外科 部長 准教授
	平成 26 年 4 月	東京医科大学 乳腺科 主任教授
賞罰	平成 20 年 4 月	横浜市立大学医学会賞

主たる所属学会及び役員

日本乳癌学会 理事・評議員、日本癌治療学会 理事・評議員、
日本乳房オンコプラステックサージャリー学会 理事・評議員、
日本乳癌検診学会 評議員、日本外科病理学会 評議員、日本癌学会、
日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会
米国臨床腫瘍学会 Active member (64490)、米国癌学会 Member (24502)、
Kanagawa Breast Oncology Group (KBOG) 理事

主たる学会認定医・専門医等 日本外科学会指導医、同専門医、同認定医、日本乳癌学
会乳腺指導医、同専門医、同認定医、日本消化器外科学会指導医、同専門医、同認定
医、同消化器がん外科治療認定医

その他 横浜市医師会マンモグラフィ読影管理委員会委員、
日本乳癌学会 総務委員長・地方創生委員長、専門医制度 副委員長、
日本外科学会 専門医制度委員、
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 読影評価 A 判定
『乳癌の臨床』誌査読委員

Surgical Case Reports, Associate Editor

Journal of Bone Oncology, Associate Editor

Japanese Journal of Clinical Oncology, Associate Editor

【教育講演 3】

乳がん患者における妊孕性温存療法の現状

聖マリアンナ医科大学産婦人科学

高江 正道

令和3年度より開始された公的助成金制度により、妊孕性温存療法はさらに普及しつつある。若年の乳がんは、乳がん全体の約5%に過ぎないものの、40代女性では最も身近な悪性腫瘍であり、妊孕性温存療法の対象疾患として代表的な疾患といえる。女性における妊孕性温存療法には、卵子凍結、胚凍結、卵巣組織凍結があるが、これまで我々が行った国内の実態調査によって、妊孕性温存療法を受けた患者のなかで乳がん患者が多数を占めることが示されている。また、これらの調査結果から、乳がん患者の卵子凍結は生産率 21.4%/胚移植（患者あたり生産率 30.4%）であり、胚凍結は生産率 22.5%/胚移植（患者あたり生産率 49.1%）であることから、乳がん患者は妊孕性温存の良い適応であると結論付けられる。

本講演では、妊孕性温存療法に関する基本的事項に加え、わが国での現状ならびに本医療の最新知見を概説する。

略歴



聖マリアンナ医科大学 産科部長

高江 正道 (たかえ せいどう)

- 2003年3月 聖マリアンナ医科大学 医学部卒業
2003年4月 日本赤十字社医療センター 初期研修/産婦人科医員
2006年4月 聖マリアンナ医科大学 産婦人科
同 大学院 医学研究科 生体構造学
2010年3月 医学博士(医学)取得
2010年4月 米国 スタンフォード大学 産婦人科 Postdoctoral fellow
2015年4月 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 講師
2018年4月～ 聖マリアンナ医科大学 生殖医療センター 副センター長
2020年4月 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 准教授
2022年8月～ 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授
2023年4月～ 聖マリアンナ医科大学 産科部長

【資格】

日本産科婦人科学会 専門医・指導医
日本生殖医学会 生殖医療専門医・指導医
日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医(腹腔鏡)

【役職など】

日本生殖医学会 代議員
日本産科婦人科内視鏡学会 幹事
日本産科婦人科学会 倫理委員会 委員

【受賞歴など】

- Oral Presentation Award of IFFS/JSRM international meeting, 2015.
- Prized paper session of ASRM annual meeting 2016.
- Best oral presentation award, The 8th Congress of the Asia Pacific Initiative on Reproduction, 2018.
- JSOG Congress Encouragement Award, 70th Annual Congress of JSOG, 2018. (日本産科婦人科学会学術集会)
- 第11回 聖マリアンナ医科大学 前田賞 2018.
- 日本医師会 医学研究奨励賞 2022.
- 川崎市医師会 功労者表彰 2023.
- 神奈川県医師会 褒賞 2023.

【ランチョンセミナー】

乳がん患者の術後 QOL 向上を目指して —新しい乳房再建法とエクオール活用—

聖マリアンナ医科大学形成外科学教室

梶川 明義

乳がんは女性にとって最も多い悪性腫瘍である。そして乳がんが子宮がんや卵巣がんなどの他の女性特有の癌と異なるのは、全切除によって癌が根治したとしても、体の表面に変形が生じ、整容的に大きなマイナスとなる点である。この乳がん患者の術後の悩みを解消するため、形成外科では乳房再建を行っている。乳房再建は、安全で美しい乳房再建法が望ましく、近年、われわれはこれまでにない新しい再建法を開発し、患者の高い満足を得ている。

また、乳がん患者では、抗がん剤やホルモン療法の影響で種々の体調不良を訴える患者が少なくない。これらの患者に対し、われわれはエクオールの内服を推奨しており、症状の改善を認める患者も多い。

今回は、乳がん患者の乳房切除後の QOL 改善のために、われわれが行っている新しい乳房再建とエクオールの活用について報告する。

略歴



聖マリアンナ医科大学形成外科学教室 主任教授

梶川 明義 (かじかわ あきよし)

【学歴・職歴】

- 昭和 59 年 3 月 (1984 年) 新潟大学医学部卒業
59 年 6 月 (1984 年) 新潟大学整形外科・形成外科診療班研修医
62 年 4 月 (1987 年) 東京大学形成外科医員
平成 3 年 7 月 (1991 年) 焼津市立総合病院形成外科医長
5 年 7 月 (1993 年) 東京大学形成外科助手
7 年 7 月 (1995 年) 同愛記念病院形成外科科長
8 年 6 月 (1996 年) 医学博士学位取得(東京大学)
10 年 9 月 (1998 年) 福島県立医科大学形成外科講師
16 年 4 月 (2004 年) 同 上 助教授(准教授)
25 年 4 月 (2013 年) 聖マリアンナ医科大学形成外科主任教授(現在に至る)

【役職】

- 日本形成外科学会評議員
日本形成外科手術手技学会理事・前理事長
第 28 回日本形成外科手術手技学会会長
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会評議員
第 9 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会会長
日本マイクロサージャリー学会評議員、日本頭蓋顎顔面外科学会代議員
日本創傷外科学会評議員

【専門医】

- 日本形成外科学会専門医・指導医 日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導医、
日本形成外科学会マイクロサージャリー指導医
日本創傷外科学会専門医、日本頭蓋顎顔面外科学会専門医
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定登録医

【趣味】

- スキー、ダイビング、水中写真など

【シンポジウム1】「乳腺外科と産婦人科の連携」

プレコンセプションケアと産婦人科医会の取り組み

医療法人医仁会徳島検診クリニック

鎌田 正晴

妊娠期乳がんの予後が悪いのは、発見の遅れが主な原因と考えられています。一方産褥期乳がんはリンパ節転移が多いなど真に予後不良とされています。

産褥期乳がんを避けるためには妊娠期に見つけることが必要で、早期発見できれば、再発の不安などが低減され、妊孕性を考えた治療法の選択肢も増えます。さらにプレコンセプションの時期なら、胚などの凍結により十分な標準治療後に妊娠・出産につなげることができます。

妊娠・産褥期は乳がんの発見・診断は困難になります。早期発見には検診しかありません。2018年に制定された成育基本法は、次世代に命をつなぎ、次世代の命を守るための法律です。その基本方針には、「乳がん等若年期に発症することの多いがんに対する検診を推進する」と記されており、40歳未満の乳がん検診の啓発も謳われています。若い女性の健康・命を守ることは次世代の命を守ることに繋がります。死亡率減少効果だけでは図れないメリットがあります。

略歴



医療法人医仁会徳島検診クリニック 副院長

鎌田 正晴 (かまだ まさはる)

昭和 22 年、鹿児島県生、76 歳
昭和 48 年 徳島大学医学部医学科卒業
昭和 56 年 徳島大学医学部産科婦人科学教室 助手
昭和 58 年 徳島大学医学部産科婦人科学教室 講師
平成 元年 ロックフェラー大学
平成 3 年 徳島大学医学部産科婦人科学教室 講師
平成 7 年 徳島大学医学部産科婦人科学教室 助教授
平成 13 年 健康保険鳴門病院 副院長
平成 25 年 公立学校共済組合 四国中央病院 病院長
令和 2 年 徳島検診クリニック副院長 (現在に至る)

日本産婦人科学会専門医、指導医、
日本乳癌学会認定医
マンモグラフィ読影認定医
乳房超音波読影認定医
日本産婦人科乳腺医学会乳房疾患認定医
日本産婦人科学会(功労会員)
日本産婦人科乳腺医学会(顧問)
日本乳癌検診学会(特別会員)
日本生殖免疫学会(名誉会員)
日本産婦人科医会 (がん対策委員会副委員長)
産婦人科診療ガイドライン婦人科編評価委員

大学時代の研究テーマは免疫学 (生殖免疫、腫瘍免疫)
日本産婦人科学会でのシンポジウム等、
スウェーデン、ウプサラでのセロノ・シンポジウム (invited speaker)、
ニューヨーク、ロックフェラー大学 Endocrinology & Reproductive Biology Seminar
(講演)
など

当時教室のテーマであった更年期女性の免疫研究を担ったことから乳がん検診を担当することになり現在に至る。

【シンポジウム1】「乳腺外科と産婦人科の連携」

ブレスト・アウェアネス (Breast Awareness :BA) 普及のための検討
及び課題 (妊娠関連乳がん (pregnancy associated breast cancer ;
PABC) 早期発見を目指して)

坂井市立三国病院産婦人科

加藤 栄一

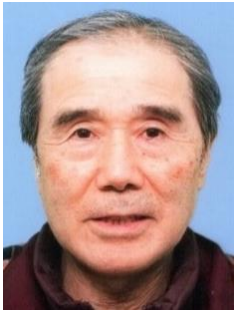
福井県産婦人科医師連合、女性ヘルスケア委員会での BA 普及のための検討及び課題を報告する。

乳がん検診未経験の産婦人科医が PABC 早期発見に参加しやすいのは BA 普及をする事であると私は考えます。「入浴時手で乳房を洗い変化がない事を確認する。変化を感じたらすぐに医師に報告し精査を受ける」が普及内容です。パンフレットを配布することや口頭で指導する方法を検討しました。

変化や腫瘍を自覚した場合どうしたらよいのか？ まず乳房超音波検査で精査が必要か診断する。次に組織診断そして最後に手術などの治療施設に紹介となる。乳腺外科医から、診療の負担になるので嚢胞などの良性疾患の紹介はやめてほしいとの依頼がありました。このため県内で産婦人科を中心に乳房超音波検査、外科を中心に組織検査を引き受けてくれる施設を調べ一覧にしてわかりやすいようにしました。

組織として BA 普及をするためには、乳がん検診未経験の産婦人科医や乳腺外科医の疑問に丁寧に答える必要があると思われました。

略歴



坂井市立三国病院産婦人科

加藤 栄一 (かとう えいいち)

福井医科大学卒業

日本産婦人科乳腺医学会

日本産婦人科学会、専門医 指導医

日本乳癌学会、日本乳癌学会認定医師

日本乳癌検診学会、日本乳癌甲状腺学会

日本乳がん検診精度管理中央機構 認定マンモグラフィ読影医 認定超音波医師

専門分野 妊娠関連乳がん

乳腺疾患診療における産婦人科と乳腺外科の連携
—妊娠・授乳期の診療を含めて—

よこはま乳腺クリニック

久保内 光一

女性特有の臓器である乳房は、患者目線では産婦人科で診てもらいたいものと考えて受診することが多く、婦人科と精査・治療を担当する乳腺外科の連携は極めて重要である。本邦において乳腺疾患は外科授業で履修し、乳癌治療は外科が行うことから、過去には婦人科医が乳腺疾患に関心を示さないことが多く見られた。しかし近年婦人科がスクリーナーとして乳腺疾患の検診・初診を行うことが多くなっており、その中から効率よく要精検・要治療の患者を乳腺外科に紹介することが重要と考える。

紹介患者を受け入れる乳腺外科側から見て、婦人科としていかに検診・初診を行ったらいかがを十分に検討する必要があると考え、本日の講演を行いたい。中でも妊娠・授乳期は特殊な環境下であり、乳腺外科側がその診療を敬遠しがちであることも事実であり、今後両科が協力してその診療に当たらなければならないと考えるが、妊娠・授乳期における乳腺外来の実態についても言及する。

【シンポジウム2】「乳腺疾患の画像診断」

マンモグラフィ読影のコツ

国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院 乳腺甲状腺外科

俵矢 香苗

マンモグラフィ撮影機器はスクリーンフィルムマンモグラフィからデジタルマンモグラフィに変わりました。読影環境についてもシャウカステンを用いフィルム読影をしていた時代は終わり、マンモグラフィ用のビューワーソフトウェアを備えた高解像度モニターを用いて読影するようになりました。スクリーンフィルムマンモグラフィでは一枚のフィルムに全てのデータが描出されていましたが、モニターに表示されたマンモグラフィは初期表示のままでは画像が持つ情報の一部しか認識することはできません。マンモグラフィを読影するには、微細な石灰化やわずかな濃度の差に注目することが重要です。それには適切な拡大操作や階調変更操作が必要不可欠であります。意外とモニターを使いこなしている読影者は少ないように思います。モニター操作を上手に活用してマンモグラフィを読むコツについて実際の症例を交えながらお話いたします。

略歴



横浜栄共済病院外科 乳腺甲状腺担当部長

俵矢 香苗 (たわらや かなえ)

平成 6 年	1994	金沢大学医学部卒業
平成 6 年	1994	金沢大学医学部第一外科学講座（現心肺総合外科学講座）入局
平成 11 年	1999	金沢大学医学部大学院外科系 卒業、医学博士取得
平成 11 年	1999	金沢市立病院外科
平成 13 年	2001	福井済生会病院外科
平成 15 年	2003	石川県立中央病院
平成 17 年	2005	横浜栄共済病院外科医長
平成 24 年	2012	横浜栄共済病院外科副部長
平成 26 年	2014	横浜栄共済病院外科乳腺甲状腺担当部長

資格

日本外科学会専門医

日本乳癌学会専門医、指導医

精度管理中央委員会読影委員（2018/4～）

日本超音波医学会超音波専門医

日本臨床腫瘍学会暫定指導医

【シンポジウム 2】「乳腺疾患の画像診断」

総合判定

宮城県立がんセンター乳腺外科

大貫 幸二

高濃度乳房ないしは若年者においては、マンモグラフィによる乳がん検診は精度が低いことが報告されています。それに対して、超音波検査はそれほど乳房の構成に影響を受けないことから、超音波検査を併用した乳がん検診が検討されています。無作為化比較試験である J-START が遂行され、超音波併用により感度の上昇が証明されましたが、特異度は低下しました。この不利益を低減させるために、マンモグラフィと超音波検査の両者の所見を加味して精密検査の要否を決定する総合判定方式が提唱されています。

本シンポジウムでは、乳がん検診における総合判定の意義、総合判定の診断基準、総合判定の方式、マンモグラフィと超音波検査所見の対比方法、総合判定の検診成績、触診と画像診断の役割などについて解説します。本講演がプレコンセプションケア、乳がん検診に対して産婦人科医がどのように関与できるかの参考になれば幸いです。

略歴



宮城県立がんセンター乳腺外科 診療科長

大貫 幸二 (おおぬき こうじ)

生年月日：1962年11月29日生
1981年 群馬県立桐生高校卒
1987年 東北大学医学部卒、仙台市立病院外科研修
1989年 東北大学医学部第二外科入局、乳腺グループ所属
1997年 学位取得（乳癌検診の費用効果分析）
2004年 岩手県立中央病院乳腺外科長
2021年4月より現職

所属学会等

- ・ 日本外科学会；指導医・専門医
- ・ 日本乳癌学会；指導医・専門医・評議員・検診関連委員会委員
- ・ 日本超音波医学会；指導医・専門医
- ・ 日本乳癌検診学会；監事・第30回学術集会会長（2020年11月）
- ・ 日本乳腺甲状腺超音波医学会；評議員・第35回学術集会会長（2015年9月）
- ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構；副理事長
- ・ 東北大学医学部臨床教授 総合外科（乳腺・内分泌グループ）

主な論文

1. Ohnuki K, et al. Overall assessment system of combined mammography and ultrasound for breast cancer screening in Japan. Breast Cancer、28(2)：254-262、2021
2. 大貫幸二：マンモグラフィの圧迫乳房厚(Compressed Breast Thickness)の臨床的意義に関する検討-高濃度乳房の本質や効率的な乳がん検診について。乳癌の臨床、34(1)：55-63、2019
3. 大貫幸二：費用効果分析からみた超音波併用乳がん検診の精度管理と個別化。日乳癌検診学会誌、26(1)：30-34、2017
4. 大貫幸二、他：マンモグラフィと超音波検査の併用検診における総合判定基準。日乳癌検診学会誌、21(3)：273-279、2012
5. Ohnuki K et al：Cost-effectiveness analysis of screening modalities for breast cancer in Japan with special reference to women aged 40-49 years. Cancer Science 97:1242-1247, 2006
6. Ohnuki K：Mammographic screening for non-palpable breast cancer in Japan. Breast Cancer 12:258-266, 2005
7. 遠藤 登喜子、岩瀬 拓士、大貫 幸二、他：乳房画像診断用語集 Breast Imaging Lexicon。日本乳癌検診学会誌、7：63-70、1998
8. 大貫幸二、他：乳癌検診におけるマンモグラフィの病変検出率とその背景因子の検討。日乳癌検診学会誌、3：33-37、1994

主な著書

1. 石山公一、大貫幸二、他：マンモグラフィのあすなる教室。秀潤社、東京、2007（絶版、改訂予定）

【シンポジウム 2】「乳腺疾患の画像診断」

乳腺疾患の画像診断 AI

湘南記念病院乳がんセンター

井上 謙一

乳癌は女性で最も一般的な癌の一つである。日本では 2000 年から対策型マンモグラフィ検診が開始され、二重読影で読影の質を担保している一方、読影医の負担や時間といったコスト問題を抱えている。最近では人工知能(AI)を用いたCAD(AI-CAD)が海外では既に複数開発され、精度向上のみならず読影の負担軽減も証明されつつある。日本でもマンモグラフィでは国産 AI-CAD の構築が進んでおり、乳腺超音波画像では既に承認されたソフトウェアも存在し、乳癌検診を中心として今後の運用が変化する可能性を秘めている。また他にも AI の汎用性の高さから、病変検出のみならず良悪性分類や組織型分類、組織のセグメンテーション、リスク評価、治療反応予測、予後予測、デノイジング、超解像などを応用した活用方法が検討されている。そこで本シンポジウムでは乳腺画像を中心に、AI を応用した様々な利用方法を紹介・検討し、今後の診断・治療支援へのヒントに繋げていく。

略歴



湘南記念病院乳がんセンター

井上 謙一 (いのうえ けんいち)

【略歴】

- 1999/3 旭川医科大学卒業
- 1999/4 北海道大学第1外科に入局。消化器外科医として北海道内各地で地域医療に従事
- 2009/3 北海道大学大学院医学研究科高次診断治療学専攻博士課程修了
北海道大学第1外科を退局
- 2009/4- 癌研有明病院 乳腺外科 シニアレジデントとして研修
- 2011/4- 湘南記念病院(現職)

【所属学会】

- 日本外科学会
- 日本癌治療学会
- 日本乳癌学会
- 日本乳癌検診学会
- 日本乳腺甲状腺超音波医学会(JABTS)
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
- 乳癌画像研究会
- DCIS 研究会
- 癌研同門会
- 日本放射線技術学会
- 人工知能学会
- 日本医用画像工学会(JAMIT)
- 医用人工知能研究会(SIG-AIMED)
- 日本メディカルAI学会

【認定】

- 日本外科学会 専門医
- 日本乳癌学会 専門医・指導医、評議員、診療ガイドライン評価委員会 委員、将来検討委員会委員(AI Working Group) 委員、
- 日本乳癌検診学会 評議員
- JBTS 乳房超音波診断ガイドライン改定小委員会 委員
- 緩和ケア研修会修了
- ACLS 講習会修了
- 医用人工知能研究会(SIG-AIMED) 研究会幹事
- 2018? ディープラーニング G 検定合格
- 2023/12 JDLA Generative AI Test 合格

関連学会・研究会予定

第21回日本乳癌学会中部地方会

会期：2024年9月7日（土）・8日（日）

会場：富山国際会議場

当番世話人：江嵐 充治（富山西総合病院 乳腺外科）

第22回日本乳癌学会北海道地方会

会期：2024年10月5日（土）

会場：札幌市教育文化会館 3階フロア

当番世話人：渡邊 健一（独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター 乳腺外科）

第21回日本乳癌学会中国四国地方会

会期：2024年9月20日（金）・21日（土）

会場：松山市総合コミュニティセンター

当番世話人：青儀 健二郎（国立病院機構四国がんセンター 乳腺外科）

佐川 庸（愛媛県立中央病院 乳腺・内分泌外科）

第22回日本乳癌学会九州地方会

会期：2024年9月28日（土）・29日（日）

会場：九州大学医学部百年講堂

当番世話人：齋村 道代（北九州市立医療センター 乳腺甲状腺外科 主任部長）

甲斐 昌也（かい乳腺クリニック箱崎 院長）

第33回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会

会期：2024年10月19日（土）・20日（日）

会場：アートホテル弘前シティ

会長：横山 良仁（弘前大学産婦人科教授）

第13回北海道産婦人科乳腺医学会学術集会

会期：2024年10月2日（火）

開催形式：オンライン開催

会長：齋藤 豪（札幌医科大学産婦人科学講座 教授）

第34回日本乳癌検診学会学術総会

会期：2024年11月29日（金）・30日（土）

会場：Gメッセ群馬

会長：鯉淵 幸生（独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 副院長）

第22回日本乳癌学会近畿地方会

会期：2024年11月23日（土・祝）

会場：大阪国際会議場

当番世話人：島津 研三（大阪大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科 教授）

第52回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会

会期：2024年11月9日（土）・10日（日）

会場：札幌医科大学 教育研究棟

会長：島 宏彰（札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科）

第20回日本乳癌学会関東地方会

会期：2024年12月7日（土）

会場：東京ビッグサイト 会議棟

当番世話人：原尾 美智子（自治医科大学外科学講座 消化器一般移植外科）
伊藤 吾子（日立総合病院 乳腺甲状腺外科）

第31回日本乳腺疾患研究会

会期：2025年3月21日（金）・22日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京

会長：上野 貴之（がん研有明病院 乳腺センター）

第31回日本産婦人科乳腺医学会

会期：2025年2月23日（日・祝）

会場：シェーンバッハ・サポール別館1階

会長：漆川 敬治（徳島県鳴門病院 産婦人科 主任部長）

第34回日本乳癌画像研究会

会期：2025年2月8日（土）・9日（日）

会場：一橋大学一橋講堂

当番世話人：宮城 由美（三井記念病院 乳腺センター長）

協賛医療機関・団体 一覧

医療法人愛育会愛育病院
一般社団法人神奈川県医師会
公益社団法人神奈川県医師会
一般社団法人神奈川県産婦人科医会
医療法人産育会堀病院
一般社団法人横浜市医師会

協賛企業・団体 一覧

アートランド株式会社
あすか製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
株式会社 Affect
エーザイ株式会社
MSD 株式会社
株式会社 LA Solutions
大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部
株式会社志水商店
株式会社ツムラ
ニプロ株式会社
日本新薬株式会社
日本電算機販売株式会社
株式会社日本ワークス
バイエル薬品株式会社
富士製薬工業株式会社
株式会社ベンハウス
持田製薬株式会社

五十音順

2024年7月10日現在

謝 辞

第15回 関東産婦人科乳腺医学会の開催に際しまして、上記の企業・団体から多大なるご助成、ご協賛をいただきました。ここに感謝の意を表します。

第15回 関東産婦人科乳腺医学会
会長 的野 博